

コロナ臨時休業中における2学年理科の課題について

上田市立第一中学校 理科教科会

1 課題作成までの経緯

今年度、新型コロナウイルスの感染拡大によって通常とは大きく異なる1学期となった。学校が休業となり授業が一時中断、いつ休業が明けるのか全く先の見えない中、生徒に休業中の課題を出すことになった。はじめは生徒がもっているワークブックの既習範囲を進めるように指示を出した。しかし休業期間が延長されると学習進度への不安感から生徒や保護者から様々な要望が学校に寄せられた。生徒からは「学習を何とか進めたい」、保護者からも「単なる復習ばかりではなく子どもたち自身で進められるような予習内容のものを用意してほしい」などの願いの声が寄せられた。これを受け、本校理科教科会では課題の検討・作成を行うこととなった。

2 課題について

課題は、以下の点に留意しつつ、2学年の生物範囲から主に作成した。

- ①生徒一人でもできるが、せっかくステイホーム期間中であるので家族と協力して進めることができるもの
- ②家庭内で実践可能で教科書の内容のもの
- ③楽しんでできるもの
- ④理科が苦手な生徒でもできるもの
- ⑤休業が明けた後のことを考え、授業でも扱える内容のもの

例年、授業の中で実験をしたり体験をしたりする内容にした。課題として生徒に配布するため、改めて授業内で再度実験しなくても良いこととした。

3 成果と課題

選択式の課題としたことで生徒や家庭の実情に応じて課題を行うことができた。休業明けに「イカの解剖はおもしろかったし、何よりおいしかった」という感想を生徒から聞くことができ、また生活記録にも「楽しくやることができて良かった」という記述があり良かった。

授業内で課題について話題にふれると、その課題をやった生徒から多くの意見が出され、授業内での意見が活発になった。あまり生徒が行わなかった課題については授業内で扱った。

生徒の課題としたことで、授業進度もスムーズに行うことができ、早い段階で例年の進度に追いつくことができた。

課題としては、今回は休業が明けたのであくまで授業の補助として使用したが、これだけで評価をするとすればどのように評価をしていくか検討していく必要があると感じた。